

一般行政報告

1 開業医誘致助成条例に基づく申請書の受理

本年1月下旬、神奈川県相模原市在住の勤務医の方から、富岡地区に小児科医院を開院したい旨の助成申請がありました。本市が設置する審査委員会の意見を伺い、手続きを進めます。

11月頃の開院を希望されおり、実現すると、本市にとって助成第2号となり、地域にとって計り知れない恩恵があるものと期待しています。

2 生ごみ中間処理施設の整備状況

生ごみ中間処理施設「バイオ工ネルギーセンター」は、4月2日の本稼働における、現在、準備を進めています。皆さんには、引き続き、廃棄物の適正な分別と排出について、ご協力をお願い申し上げます。(施設の詳細は3月号に掲載)

3 オロロンオンライン地域の自然エネルギーを活用した地域活性化に関する研究会

昨年12月、風力発電導入の課題や、地域経済活性化の方策などを検討するため、

内11市町村が参加し、同研究会が発足しました。
2月19日には2回目となりして、本市を会場に開催しました。

補佐官からは、野田政権のエネルギー施策の取り組みについて講話があり、当地域にとって最重点課題である送電線整備や立地規制の緩和を前向きに進めたいなど、大変力強い発言をいたしました。

本市を含む日本海オロロンライン地域の宗谷・留萌管内11市町村が参加し、同研究会が発足しました。臣・本多平直補佐官をお招きして、本市を会場に開催されました。

私は、かねてから「自分の考えを直接お届けし、市民の皆さんから様々なご意見をいただきたい」と言つてきましたが、1月21日に宝来地区活動拠点センターを会場に「ふれあいトーク」をスタートさせました。

今後も定期的に市内各所で開催する予定で、多くの市民の皆さんと膝を交えた意見交換を行い、今後のまちづくりに反映したいと思っています。

4 港湾計画の改訂

計画の改訂に向け、昨年2月から、将来の稚内港のあるべき姿や役割について学識経験者や港湾関係者からなる検討会で検討を重ね、『稚内港将来ビジョン案』を作りました。今後はパブリックコメントを経て計画に反映させ、国際定期フェリーや「日本海側拠点港」としての稚内港の機能を高めていきます。

港湾計画は、当初、平成24年度末の完成を予定していましたが、「日本海側拠点港」の国の決定が、予定より8か月ほど遅れたことから、平成25年度末に変更することとしました。

5 ふれあいトークの実施

私は、かねてから「自分の考え方を直接お届けし、市民の皆さんから様々なご意見をいただきたい」と言つてきましたが、1月21日に宝来地区活動拠点センターを会場に「ふれあいトーク」をスタートさせました。

今月号では、新しい機構の部課名の紹介及び主な業務指しています。

